

## 新しい発想や技術による変革（イノベーション）

### 1 長岡版イノベーションについて

#### 【基本的な考え方】

変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず市民生活の向上と産業の活性化を実現する。

大きな変化をチャンスととらえ、市政のあらゆる分野に新たな発想や先端技術を取り入れ、人材育成と未来への投資を行う「新しい米百俵」の実現に向けて、全力で取り組む。

（資料 No.4-2 長岡版イノベーションの施策展開 参照）

### 2 長岡版イノベーション施策における目的（行財政運営に関わる部分を抜粋）

#### (1) 市民生活の向上

- ・ デジタル化による市民生活の利便性向上
- ・ 新しいツールを活用し個々の市民に最適な情報・サービスの提供
- ・ 新しい技術や考え方を取り入れた行政課題の解決

#### (2) 行政事務の効率化

- ・ 市民目線に立ち様々なノウハウを活用した、行政事務の徹底的な見直し
- ・ 市が持つデータを活用した市民サービスの構築
- ・ 事務の自動化による人的資源・財源の有効活用

### 3 これまでの主な取り組み

#### (1) 政策課題や事務課題、及び先端技術・新しい考え方の導入を志向する案件の調査

- ① 平成30年4月に全部局・支所に対して実施
- ② 2つの観点について調査
  - ・ 新しい技術や考え方による対応を検討したい政策課題や地域課題、及び懸案となっている事務上の課題について
  - ・ 政策や事務の構築・見直しのため導入を検討したい新しい技術や考え方について
- ③ 結果として、約300項目の提案あり

（資料 No.4-3 部局アンケート結果サマリー 参照）

#### (2) 調査をきっかけにした全庁共通の取り組み

- ① 課題を見極める能力を磨く取組
  - ・ デザイン思考研修  
（幹部職員向け座学研修、係長級職員向けワークショップ）
  - ・ データ利活用研修（2年度予算案に計上）  
（データから現状を理解し課題を導き出すための研修）

- ② 行政以外の主体と協働して事業を形成する取組
  - ・ N a G a O K a オープンイノベーション事業
- ③ 全庁で共通利用できる業務改善ツールの導入
  - ・ R P A
  - ・ A I 画像認識を活用した O C R
  - ・ A I 音声認識を活用した議事録作成支援システム
  - ・ W E B 会議システム

#### 4 行財政運営への寄与

##### (1) 課題認識と実証実験をプロセスに織り込んだ事業形成手法の構築

課題を提示して民間企業等から解決手法を募り、実証実験を経て導入可否を判断する手法を構築（N a G a O K a オープンイノベーション事業）。

##### (2) 試験導入で導入効果を確認した上での導入

元年度の R P A 及び A I - O C R の導入効果は 12 課 32 業務で 6, 150 時間を確認

##### (3) 単純作業を自動化し、人間が行う業務の質を上げる取組に着手

R P A 等による自動化とともに、デザイン思考やデータ利活用の研修を行い「人間が行う仕事」の質の向上を図る。

#### 5 今後の展望

##### (1) 新たな考え方や先進技術を活用した「市民生活の向上」

シェアリングエコノミー等の新しいビジネスモデルの導入支援や、スマートフォンの活用等により、斬新で効率的な市民サービスを提供し、市民生活の充実を図る。

##### (2) 新しいツールを効果的に導入した「行政事務の再構築」

業務改善ツールの導入による部分最適ではなく、導入をきっかけに業務の再構築を促し、総体としての最適化と、横展開の促進を図る。